

FMU 男女共同参画通信

第14号 September 2017
福島県立医科大学男女共同参画支援室

日増しに秋の深まりを感じるころとなりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。今年度も上半期が終り、下半期に突入いたします。10月は、男女共同参画月間に伴い男女共同参画講演会を開催いたします。その他にも下半期に行われますイベント等をご紹介します。

10月は男女共同参画月間です。講演会も開催いたします！！

「男女共同参画行動計画」の取組の一環として、4月と10月を「男女共同参画推進月間」とし、男女共同参画の意識の浸透を図るような取組を集中的に行うこととしております。

具体的な取組の一つとして、各講座において「男女共同参画マニュアル」を用いて所属内で研修会を開催いただき、「チェックシート」を用いて一人一人自己点検を実施して頂くなどして、男女共同参画の理解を深めていただきます。

また、10月13日(金)には、「H29年度全員参加型SD講習会 福島県立医科大学男女共同参画講演会」を開催いたします。講師に政策研究大学院大学名誉教授/日本医療政策機構代表理事 黒川清先生と旭川医科大学教授/二輪草センターセンター長 山本明美先生を招聘しましてご講演いただきます。多数のご参加をお待ちしております。

全員参加型SD講習会
男女共同参画講演会

日時 2017年10月13日(金) 17時30分～19時
場所 福島県立医科大学 講堂

講師 黒川 清 先生
政策研究大学院大学名誉教授/
日本医療政策機構代表理事

講師 山本 明美 先生
旭川医科大学教授/二輪草センターセンター長

お申込み
当日参加が可能です。所属にご事前申し込みを推奨いたします。
申し込みの締切は、10月10日(火)正午です。
お申し込みは、福島県立医科大学男女共同参画支援室までお申し込みください。
お申し込みは、福島県立医科大学男女共同参画支援室までお申し込みください。
お申し込みは、福島県立医科大学男女共同参画支援室までお申し込みください。

福島県立医科大学 男女共同参画支援室
E-mail: gendoban@fmu.ac.jp TEL: 0246-2181-1100 FAX: 0246-2181-1101
URL: http://www.fmu.ac.jp/about/gendoban/

FMU キャリアサポート交流会を開催しました

6月20日(火)に、学生を交えての交流会「FMUキャリアサポート交流会ー未来の“私”を考えようー」を開催いたしました。講師に、本学附属病院糖内代謝科腎臓高血圧内科外来 河野さおり氏と本学会津医療センター消化器内科学講座教授 入澤篤志先生を招聘し、ご講演いただきました。

河野様には、糖尿病看護認定を取得した経緯やこれまでのキャリアを、入澤先生には講座での男女共同参画への取り組みについてお話いただきました。参加者からは、「現場で働いている先輩方の話を聞くという貴重な経験が出来て良かったです」「福島医大が行っていたキャリアを積むのにサポートが多いことを知ることができて良かったです」などの声が寄せられました。

ご講演終了後には、交流会も開催され、学生を交えて親睦を深めました。



FMU スキルアップセミナー「英論文執筆セミナー」を開催しました

研究技能向上のための講習会として、7月14日(金)に「英語論文執筆セミナー アクセプトされやすい論文とは？」を開催いたしました。出版社の立場からジャーナル論文執筆のヒントをご紹介いただき、アクセプトされる可能性を高めるために英語論文執筆の基礎を学びました。

参加者からは、「大変勉強になりました。論文作成時にとても役立つと思いました」「修論作成に関して、自分が今悩んでいた部分のヒントとなった」などの声が寄せられ、多くの方々に参加していただき、大変有用な講習会になりました。



毎月 FMU カフェを開催しています

毎月、交流の場として「FMU カフェ」を開催しております。

6月には、情報交換をしつつ英語力を身に付ける『イングリッシュカフェ』を開催しました。今年度より本学に赴任されました、放射線県民健康管理センター国際連携室助教 Yuliya Lyamzina 先生にご発表いただき、本学に在籍している留学生の方々も参加され、とても賑やかなイングリッシュカフェとなりました。

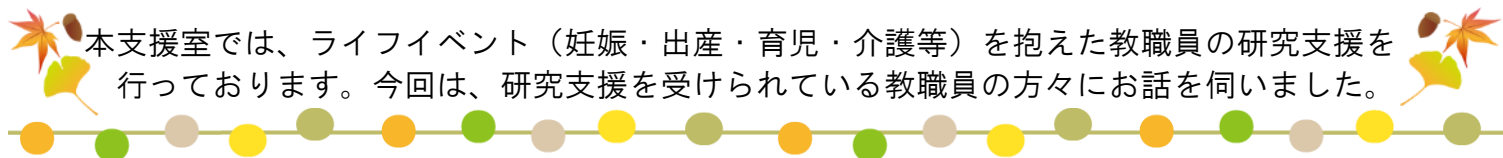


7月には、女性教職員を対象としました『女性限定カフェ』を開催しました。参加者の方々は、お互いのライフイベントなどについて意見交換し、とても充実したカフェになりました。



7月5日(水)には、会津医療センターでも『FMU カフェ』を開催しました。会津医療センターリハビリテーション科 半谷智辰先生に「働きやすい職場を目指して～リハビリテーション科での取り組み～」と題してご発表いただきました。参加者からは、「ストレス対応の仕方参考になった」、「自分も【働きやすい環境】作りに貢献したい」などの声が寄せられ、大変有意義なカフェとなりました。



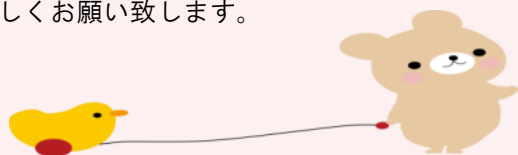


本支援室では、ライフイベント（妊娠・出産・育児・介護等）を抱えた教職員の研究支援を行っています。今回は、研究支援を受けられている教職員の方々にお話を伺いました。

研究支援を受けて

腫瘍内科学講座 助教 木村礼子 先生

男女共同参画支援室から研究支援を頂けるようになって、もうすぐ1年が経過します。現在、私は腫瘍内科学講座で昨年から育児短時間勤務をしています。理解のある職場で大変感謝しているのですが、短時間勤務で思うように仕事ができず申し訳ない気持ちもありました。日々の勤務時間は臨床業務などで終わってしまい、休日でも子供の相手や家事でなかなか時間がありませんでした。そのため、子供が生まれるまでは夜や週末のまとまった時間を使ってやっていた仕事ができずにいました。そこで研究支援を申請してみました。研究支援員さんに来て頂けるようになってからは、これまでたまっていたデータ入力をして頂けることによって、研究も進み、気持ちも楽になりました。本当に感謝しています。これからもよろしく願い致します。



研究支援ありがとうございます

血液内科学講座 准教授 大河原浩 先生

男女共同参画室の皆様には日頃より大変お世話になり誠にありがとうございます。現在、私は4歳の娘を田村市の祖父母に預けています。医大まで片道50分程かかりますが、多感な時期の娘と一緒にいる時間を出来るだけ作りたいと考え、田村市から通勤しています。血液疾患は重篤で複雑な病状の患者さんが多く、同種造血幹細胞や新規抗癌剤の開発で治療法も多様化しています。外来抗癌剤治療の患者さんも増え、臨床は多忙です。週末は幼稚園の行事、病棟当番や当直もあり、さらには学生教育や会議出席等の業務も多くなり、これまでのように実験を行うことは困難でした。研究支援員さんのお陰で、今では継続的に実験を進めることができています。先日も基礎系研究会の発表に何とか間に合いました。データ整理なども手伝って頂き、症例報告の論文も完成することができました。今後も環境に負けることなく、研究に臨床に前向きに頑張っていきたいと思えます。

今年度の研究員支援制度は、上半期（平成29年4月～9月）に12名の教職員の方々に支援を行い、下半期（10月～平成30年3月）には14名の教職員の方々に支援することになりました。

H29年度下半期イベント予定

日付	イベント	講師等	日付	イベント	講師等
10/24	FMU イングリッシュカフェ	講師調整中	1/23	FMU スキルアップセミナー 【研究デザインについて（予定）】	福原 俊一先生 （本学臨床研究イノベーションセンターセンター長）
11/13	FMU キャリアアップセミナー 【キャリア形成について】	池添 隆之先生 （本学医学部血液内科学講座 教授）	1/26	FMU キャリアサポート交流会	■大久保 ゆかり 先生 （東京医科大学 医師・学生・研究者支援センターセンター長） ■大橋 麻美 氏 （本学附属病院みらい棟小児特定集中治療室）
11/21	FMU イングリッシュカフェ	Dr.Enkhtuya Palam 他2名 （モンゴル国 National Center for Public Health）	2/13	FMU イングリッシュカフェ	講師調整中
12/22	FMU キャリアカフェ	本学の男女共同参画の現状と今後を語ろう①	2/	成果報告会	今年度研究支援を受けられた教職員
H30 1/19	FMU キャリアカフェ	本学の男女共同参画の現状と今後を語ろう②	3/13	FMU キャリアカフェ	本学の男女共同参画の現状と今後を語ろう③

福島県立医科大学では、個人として尊重され、性別に関わらず、多様な価値観を認め合い、持てる個性と能力を最大限発揮できる環境を築き、仕事と生活の調和を実現することを目指しています。

福島県立医科大学 男女共同参画支援室

【連絡先】 E-mail : gendeqsp@fmu.ac.jp / Tel : 024-547-1657 / 内線 : 2807

HP : <http://www.fmu.ac.jp/home/gendeqsp/>

男女共同参画支援室長 小宮 ひろみ

コーディネーター 千葉 篤子